



# 平成25年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	2,023		204		205		109	
24年2月期第1四半期								

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 百万円 ( %) 24年2月期第1四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	1,825.57	
24年2月期第1四半期		

(注) 平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期第1四半期の数値及び対前年同期増減率については記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	7,033		5,054			70.9
24年2月期						

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 4,991百万円 24年2月期 百万円

(注) 平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期の数値は記載していません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		0.00		600.00	600.00
25年2月期					
25年2月期(予想)		0.00		600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,941		264		256		149		2,489.01
通期	8,211		569		551		322		5,378.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成25年2月期第1四半期より連結財務諸表作成会社となるため、対前期増減率は記載していません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)  
詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の移動」を参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	59,863 株	24年2月期	59,863 株
25年2月期1Q	株	24年2月期	株
25年2月期1Q	59,863 株	24年2月期1Q	59,863 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、第1四半期連結累計期間より連結決算を開始しております。  
・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災関連需要による押し上げ効果も一部に見られ、全体としては緩やかな持ち直しの動きが続いております。

一方、原発事故による電力の安定供給への懸念、長期化する円の高止まり傾向、欧州の財務問題を背景とした世界経済の減速など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の業績に大きな影響を及ぼす不動産市況におきましては、依然として公示価格の下落は続いているものの下落幅は縮小し、一部地域においては上昇を示す動きも見受けられるようになり、市況全体についても緩やかな回復傾向が見られました。

このような背景のもと、土壤汚染調査・処理事業を大きな柱に据え、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,023百万円となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益204百万円、経常利益205百万円、四半期純利益109百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (土壤汚染調査・処理事業)

依然として部分的かつ限定的な動きではありますが、不動産市況の若干の回復を下支えとし、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高1,802百万円、営業利益239百万円となりました。

#### (廃石膏ボードリサイクル事業)

不動産市況が概ね安定的に推移したことにより、建設解体市場も比較的順調に推移いたしました。その結果、売上高161百万円、営業利益34百万円となりました。

#### (その他)

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高101百万円、営業利益9百万円となりました。

なお、前事業年度は連結子会社がなく、連結損益計算書を作成しておりませんので、連結数値についての前年同四半期比較は行っておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,033百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,055百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金821百万円、売掛金及び受取手形1,089百万円であります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は4,978百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産4,562百万円、投資その他の資産405百万円であります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,631百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金392百万円、短期借入金853百万円であります。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は346百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金190百万円、引当金107百万円であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,054百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,446百万円、資本準備金1,242百万円、利益剰余金2,269百万円であります。

なお、前事業年度は連結子会社がなく、連結損益計算書を作成しておりませんので、連結数値についての前年同四半期比較は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、不動産市況及び建設解体市場が概ね順調に推移したことにより、第1四半期連結累計期間における業績が当初予想を上回ったため、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成24年7月12日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、重要性が増したことにより、株式会社グリーンアローズ中部を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
 (平成24年5月31日)

<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	821,634
受取手形及び売掛金	1,089,856
たな卸資産	78,926
その他	78,227
貸倒引当金	13,464
流動資産合計	2,055,180
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,199,598
土地	2,743,504
その他(純額)	619,108
有形固定資産合計	4,562,211
無形固定資産	9,946
投資その他の資産	
その他	430,585
貸倒引当金	24,615
投資その他の資産合計	405,969
固定資産合計	4,978,127
資産合計	7,033,307
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	392,399
短期借入金	853,472
未払法人税等	95,165
引当金	4,352
その他	286,564
流動負債合計	1,631,954
固定負債	
長期借入金	190,441
引当金	107,320
その他	48,903
固定負債合計	346,665
負債合計	1,978,619

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成24年5月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,446,921
資本剰余金	1,242,433
利益剰余金	2,269,137
株主資本合計	4,958,492
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	33,317
その他の包括利益累計額合計	33,317
少数株主持分	62,878
純資産合計	5,054,688
負債純資産合計	7,033,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	2,023,506
売上原価	1,631,028
売上総利益	392,478
販売費及び一般管理費	188,067
営業利益	204,410
営業外収益	
受取利息	0
受取地代家賃	757
補助金収入	1,798
その他	396
営業外収益合計	2,952
営業外費用	
支払利息	1,822
営業外費用合計	1,822
経常利益	205,541
税金等調整前四半期純利益	205,541
法人税、住民税及び事業税	92,521
法人税等調整額	6,031
法人税等合計	86,489
少数株主損益調整前四半期純利益	119,051
少数株主利益	9,767
四半期純利益	109,284



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,051
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	6,201
その他の包括利益合計	6,201
四半期包括利益	125,253
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	115,485
少数株主に係る四半期包括利益	9,767

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「土壌汚染調査・処理事業」と「廃石膏ボードリサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。また、「廃石膏ボードリサイクル事業」は、廃石膏ボードを選別・破碎・ふるい分け等により製造した石膏粉を石膏ボードメーカーに納品すると共に、石膏粉を主原料とした固化剤を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

単位：千円

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,802,694	160,955	1,963,650	59,856	2,023,506	-	2,023,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,036	1,036	41,626	42,663	42,663	-
計	1,802,694	161,991	1,964,686	101,482	2,066,169	42,663	2,023,506
セグメント利益	239,842	34,560	274,402	9,115	283,518	79,107	204,410

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 79,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため記載を省略しております。